

スローテンポ通信

第 58 号

2022年8月16日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町 3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

◎ 本の紹介

『“平和主義とは何か”

考えるヒント17冊』から2つ!

①『暴力と紛争の“集団心理”』

縄田健吾著 ちとせプレス 2022年

☆☆☆☆☆★

社会心理学という学問は、暴力や紛争を回避する方法を明らかにしている。書かれているとおりにやれば、戦争は起こらない。戦争が起こっても、すぐに収束させられる。

わかっているのに実行されないのはなぜか。平和実現のための課題はそんなところにある。

⑤『我らが願いは戦争』

チャン・ガンジョン著 小西直子訳

新泉社 2021年 ☆☆☆☆☆

「世界中が平和を願っているのに、何を言ってるんだ!」と、タイトルに反発する。だが、この世界には、戦争を願う人や戦争になれば助かる人が存在する。韓国で話題をさらった小説の翻訳。

◎ 本を読まない人の読書会

本を読まない人が、参加するだけで、本を読んでみたくになります。

準備も知識も不要。本の紹介の後はおしゃべりです。NHK Eテレの「100分de名著」と違って、発言は自由です。

・場所:スローテンポ書店

・日時:8月27日(土)PM3:00~5:00

(毎月第4土曜日の予定)

今回は以下の2つを紹介します。

・『三尺三寸箸』仏教辞典から

天国と地獄の違いとは何か…?

・『われらは愛と正義を否定する』

横田弘 他著

「本を読まない人の読書会」

へのご招待

前代未聞の読書会です。参加しさえすれば、本を読まない人も、本でも読んでみようかな、と変わります。

7月に第1回をやってみました。欲張りすぎて、絵本を二冊と短編小説、それに日本国憲法前文を取り上げました。

朗読を聞いた後、感想を述べ合ったところ、予想外の感想、意見が出ました。

絵本「大きな木」は、大きな木と少年の成長を描いた絵本です。母親の愛情の元で子どもが成長していく姿をうまく表現している、とされています。それに真っ向から反対する意見が出ました。

「母親が少年に依存していて、自分がない、こんな子育ては子どもにとってもよくない」という意見に、皆が驚きました。一般的な読書会では、本に対して批判的な意見はまず出ません。

短編小説『最後に咲く花』については「おもしろくない。俺はハードボイルドしか興味がない」という感想が出ました。

この読書会は、本のよさがわからない人が対象です。この小説のどこが素晴らしいのかを、誰にでもわかるように話すことができれば、この小説の良さをわかってもらおうチャンスでした。時間がなく不十分でした。反省点です。

憲法改正の論議が進んでいます。もし国民投票になった場合、誰もが自分の意見を持っていなければなりません。

それで憲法前文を本と同じように扱いとりあげました。ここでも予想外に自由な発言が出ました。

「ロシアの軍事侵攻に対し、ロシアを非難しウクライナを軍事支援することは憲法が言っていることに反するのではないか」という意見が出ました。

さらに、「憲法前文に従うなら、日本は即時停戦を掲げて、仲裁に出て行くべきではないか」という意見も出ました。

それに対し、「そんなことは無理だ」、「知恵とアイデアを集めれば可能だ」と議論は展開しましたが、ここでも時間切れで中途半端に終わってしまいました。

いろんな感想や意見が出ましたが、話

し合いを深めれば、人によっていろいろな読み方があり、読み方によって得られるものが違うということがわかります。

ネットニュースやSNSは、単純な情報を伝えてくれるだけです。気に入れば「いいね」をクリックするだけで、考えたり批判することはありません。

本は、どの角度から読むか、どこまで深読みするかなど、読み方は自由です。

それがわかれば、本を見直すことにつながり、読み方次第で本から得られるものが大きいということがわかります。

そうすれば、誰かが「この本はすごい」と言ったとき、参加者は「どこがすごいのだろう」と興味を抱き、話しを深めれば本の素晴らしさが伝わっていくでしょう。

スローテンポ書店では、何を言ってもかまいません。特定の立場の代弁ではなく、本人自身の意見を大切にしています。

ただ、議論に熱くなると、互いに立場の主張に陥ることがあります。そうなってしまえば、相手の言葉をもう少し聞いてみようとはしないし、新しい見方、考え方を知ることはできません。

本を読むときも同じです。立場を決めて本に向かえば、自分の知らない世界や新しい考え方にありつくことはできません。本を批判するのは、著者の言いたいことを読み取った後でよいのです。

前回は時間がなく、話を深められなかったのが残念でした。参加者も思う存分に発言できなかったことでしょう。

次からは、何でも言える雰囲気を保ちつつ、話し合いの時間を十分に確保するために、本を2冊までに抑えます。

「本を読まない人の読書会」の目標は、たとえ受身であっても、参加しさえすれば、読書の喜びがわかるようになることです。それに加え、これまでの読書会にはない特徴が二つあります。

①準備も前知識もなしで参加できる。

②なんでも自由に言える。

これからも、知恵とアイデアと、試行錯誤をくりかえすことによって、参加者が読書の喜びに気付くきっかけを提供していきます。

(ブログから抜粋)



本好きも本嫌いも集まれ!

本の良さを再発見する本屋

スローテンポ書店

小山駅西口 **ロブレ**地階

消毒や換気などの対策をして、
通常通り営業しております。

どうぞマスクをつけてご来店ください。

オープン:火~土 13時~19時(日月祝日休み)

☆ 懇話会

どなたも歓迎! 困りごとをお話してください。既定路線に縛られることなく、課題をさぐり、解決の方法を話し合います。

土曜日(第4土曜日を除く)午後3時~5時、参加無料。

☆ 伝わる文章教室

文章は最も正確で直球の表現手法です。この講座は、自分を表現する場です。読む人に、伝えたいことがきちんと伝わることを目指します。書店に作品集があります。

木曜日 午後3時~5時。